

140Lハイブリッド給湯暖房（GTH）システム施工参考図「ヒートポンプ左・貯湯ユニット標準設置」

(単位：mm)

★ヒートポンプ配管について

<配管材料>

| 名称      | 配管                                | 呼び径 |
|---------|-----------------------------------|-----|
| 金属強化PE管 | HP配管セット（3m、5m）別売品または市販同等品         | 10A |
| 架橋PE管*  | JIS K6769 PN15に準拠した市販品（耐熱温度95℃以上） | 10A |

※ペアチューブは使用不可です。

<配管長さ等>

| 地域                     | 配管長さ      | 曲がり    | 高低差  | 保温材厚み  | 凍結予防ヒーター          |
|------------------------|-----------|--------|------|--------|-------------------|
| 標準地域（外気温が－10℃以上）       | 1m以上15m以内 | 6曲がり以内 | 3m以内 | 10mm以上 | 要（外気温度が0℃未満となる地域） |
| 準寒冷地（外気温が－10℃未満－15℃以上） | 1m以上5m以内  | 6曲がり以内 | 3m以内 | 20mm以上 | 要                 |

★排水配管について

- <貯湯ユニット>
- フレキ管または塩化ビニル管を使用して下さい。勾配は1／50以上としてください。
  - ホッパー排水配管とタンク排水配管は途中で合流せずにそれぞれ別々で排水口まで配管してください。
  - 排水口は空間を50mmあけてください。「給排水衛生設備基準」（空気調和・衛生工学会規格SHASE）に準じています。
- <ヒートポンプユニット>
- 設置前にホース継手とドレンホース（内径φ16現場手配）をユニット底面に取り付けてください。
  - 必ず下り勾配としてください。
  - 凍結の恐れがある場合は、ホース継手を使用せず、機器下部に排水口またはホッパーを設けてください。ホース継手を使用するとドレン水が機器下部で凍結します。

★基礎・固定について

- <貯湯ユニット>
- 140L貯湯ユニットの参考基礎寸法（厚みは150mmで想定）

| 設置方式  | 幅を最小にする場合   | 奥行き650時      | 奥行き600時      | 奥行きを最小にする場合  |
|-------|-------------|--------------|--------------|--------------|
| 片寄せ設置 | W900 X D730 | W1150 X D650 | W1500 X D600 | W1910 X D550 |
| 中央設置  | W900 X D630 | W900 X D650  | W1050 X D600 | W1400 X D550 |

※片寄せ設置。。。機器を壁などから10mmに近接して設置する場合

※中央設置。。。機器を基礎の中央に設置する場合

※厚み、幅、奥行きを他寸法の組み合わせで検討される場合は、工事説明書をご参照ください。

※基礎寸法は、設計用標準震度0.4・地域係数1で計算した値です。詳しくは「建築設備耐震設計・施工指針」（一般財団法人 日本建築センター）を参照して、確実に施工してください。

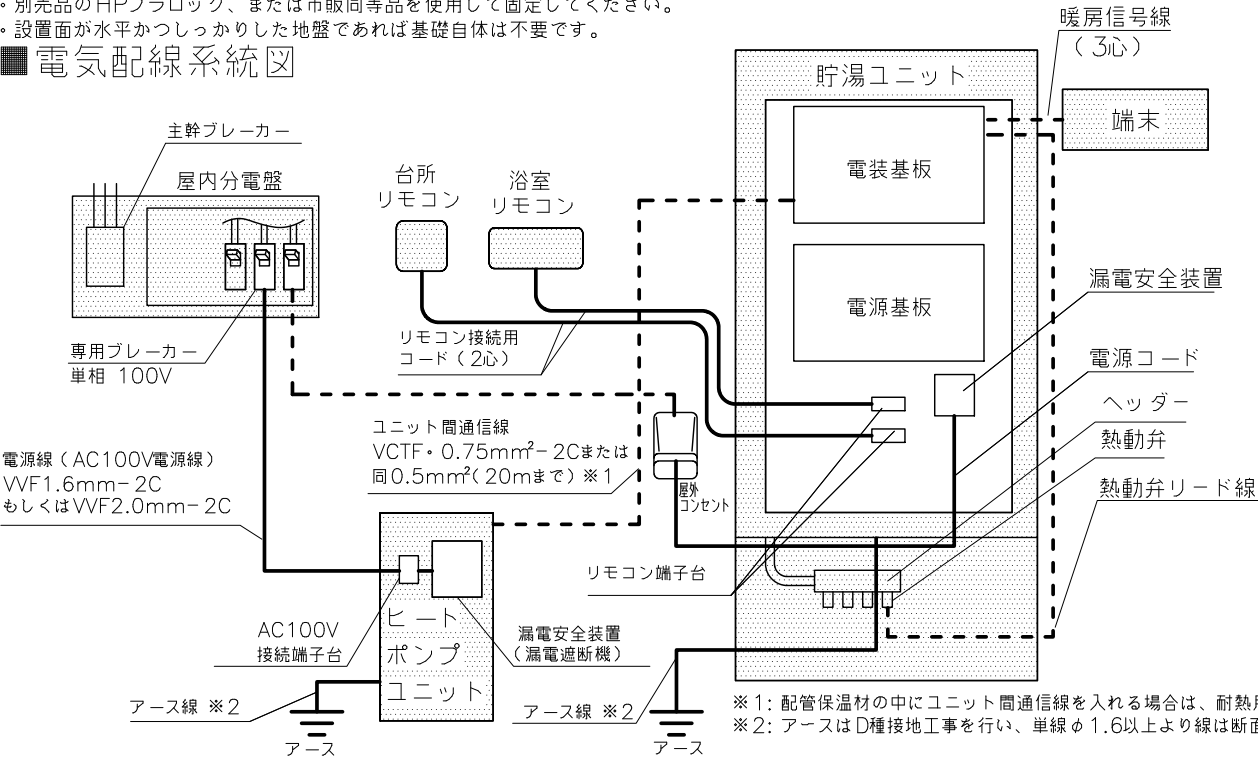
| 項目         | 1階／地階に設置             |                    |
|------------|----------------------|--------------------|
| アンカーボルトの種類 | おねじ形あと施工アンカー         | その他のアンカー           |
| 必要条件       | M10以上×埋込長さ 40mm以上のもの | 2.2kN以上の引張耐力を有するもの |
| 本数         | 4本                   |                    |
| 材質         | ステンレス                |                    |

※耐震クラスA以上が必要な場合は、「建築設備耐震設計・施工指針」（一般財団法人 日本建築センター）を参照して、確実に施工してください。

<ヒートポンプユニット>

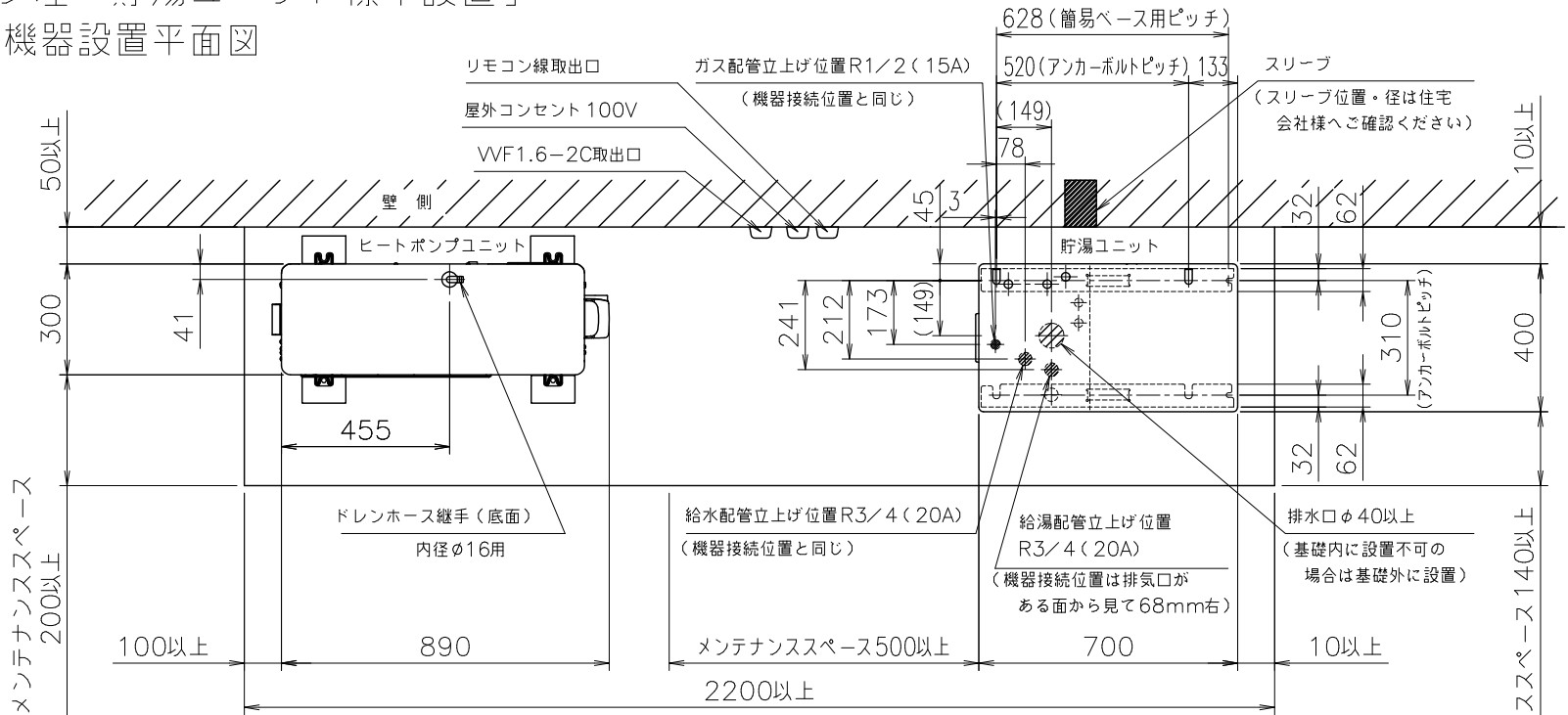
- 別売品のHPブラロック、または市販同等品を使用して固定してください。
- 設置面が水平かつしっかりした地盤であれば基礎自体は不要です。

■電気配線系統図

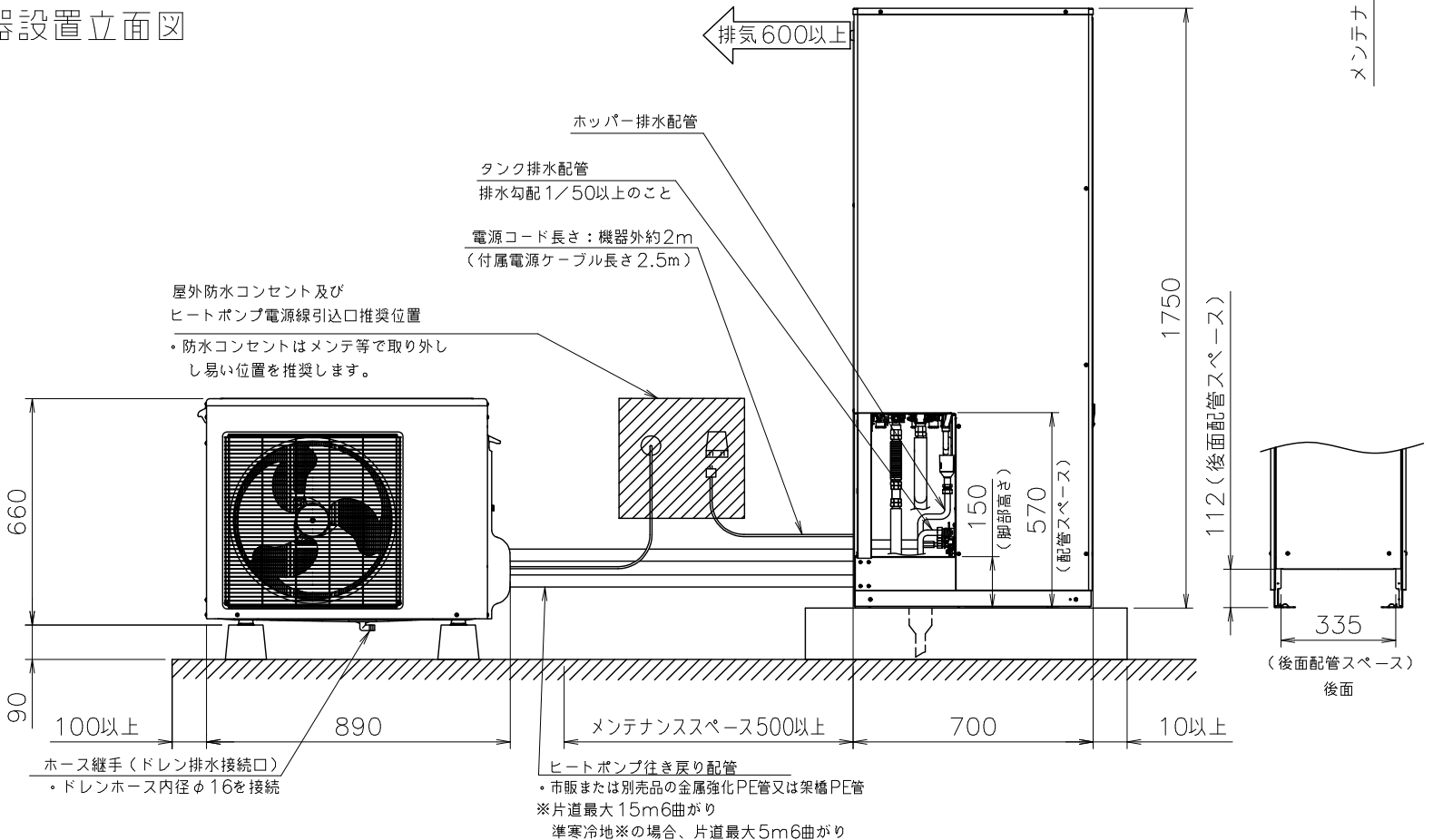


※1: 配管保温材の中にユニット間通信線を入れる場合は、耐熱用のHVCTF・0.75mm<sup>2</sup>－2Cまたは同0.5mm<sup>2</sup>を使用する。  
※2: アースはD種接地工事を行い、単線φ1.6以上より線は断面積2mm<sup>2</sup>以上

■機器設置平面図



■機器設置立面図



※施工参考例です。詳細は工事説明書及び現場確認をお願いします。

|       |     |            |                                                                              |    |            |            |
|-------|-----|------------|------------------------------------------------------------------------------|----|------------|------------|
| 納入仕様図 | 製品名 |            | SH-GTHC2410AD-1BL<br>SH-GTHC2410AD-2BL<br>SH-GTHC2410AD-PV-2BL<br>HP-2202 BL |    |            |            |
|       | 図名  |            | 施工参考図1（ヒートポンプ左・貯湯ユニット標準設置）                                                   |    |            |            |
|       | 尺度  | －          | 原紙サイズ                                                                        | A3 | 図番         | WN-18-0235 |
|       | 作成  | 2018. 7. 2 | 調整                                                                           | E  | 2023. 2.10 | 株式会社ノーリツ   |

注意※開口部との離隔距離、排気カバー設置時の離隔距離などは工事説明書をご確認ください。  
※準寒冷地（外気温度が－10℃から－15℃となる地域の設置）の場合、貯湯ユニットには配管カバーを取付けしてください。（－1の場合、別売品が必要です）